

第42回アビリンピック鳥取大会 ビルクリーニング競技課題（注意事項と進行手順）

◎一般的な注意事項

[共通事項]

1. アビリンピック鳥取大会では、2つの課題を行います。
課題1 カーペット床清掃（掃除機による吸塵作業）
課題2 弾性床清掃・机上清掃（拭き、掃き及び机上清掃）
課題1は午前中、課題2は午後を実施します。課題1の終了後、昼食休憩が入ります。
2. 2課題とも、時間が定められています。
課題1は7分、課題2は10分で打ち切りとなります。
3. 使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
4. 競技採点は、作業準備、作業動作（手順）、仕様誤り、作業態度、作業時間の5面から審査します。
5. 作業に適した服装をしてください。
6. 作業開始の指示は審査員が行います。
7. 作業ごとに入退室を行う際には会釈（軽く挨拶や礼）をしてください。
8. 「始めます」「終わりました」の申告と、入退室の際の「失礼します」「失礼しました」以外は、競技中に声を出さないでください。
9. 2課題とも、残り2分で合図を出します。
10. 作業は2コートで同時進行します。先に作業が終了した競技者は、スタートラインに戻り、もう一方の競技者が作業を終了するまで、そのまま待機してください。

◎課題1：カーペット床清掃

1. 作業面積は16㎡（4m×4m）とし、検定枠により区画します。
2. タイルカーペット床の吸塵作業です。
3. 床のゴミは、「シュレッダーゴミ」とし、50ml程度まいたものとします。
4. 検定枠の上には壁があるものとして作業を行ってください。
5. 作業場所にある机は、移動させないでください。
6. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

◎課題2：弾性床清掃及び机上清掃

1. 作業面積は16㎡（4m×4m）とし、検定枠により区画します。
2. 床材質は大会会場の床面とします。
3. ゴミ処理・床面の掃き・拭き作業及び机上拭きの作業です。
4. 作業に使用する様々な資機材・消耗品は、作業用カートに乗せてあるものを点検してください。
5. モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に自分で操作しやすい長さに調節してください。
6. 乾式モップ用クロスは競技者が作業前に取り付けて点検してください。
7. 床のゴミは「シュレッダーゴミ」とし、50ml程度をまいたものとします。
8. 検定枠の上には壁があるものとして作業を行ってください。
9. 作業場所にある机は移動させないでください。

10. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

◎ 資機材一覧表

1. 各競技場に準備されているもの

(2) 課題 1

品名	寸法又は規格	数量	備考
真空掃除機	ポット型 リンレイ RD エコ 2 型	1 台	
机		1 台	
イス	パイプ式折りたたみ	1 脚	
ゴミ箱	角型	1 個	

(1) 課題 2

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 台	
作業標示板		1 個	
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1 本	
ラーグ (モップ房)	260g 白色	1 枚	
小型ほうき	30 cm幅用	1 本	
乾式モップヘッド	63 cm	1 枚	
文化ちり取り	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 個	
タオル	無地 水拭き用 (緑色) 1 枚、 から拭き用 (白色) 1 枚	2 枚	
ダスタークロス	69 cm幅の不織布	1 枚	
ビニル袋	ゴミ箱用替袋	1 枚	
イス	パイプ式折りたたみ	1 脚	
机		1 台	
ゴミ箱	角型	1 個	

2. 競技者が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業着(上・下)		1 着	
作業帽又は三角巾		1 個	
作業靴		1 足	

(注意) 持参するものは、上記のものに限るが、同一種類のものを予備として持参することは差し支えない。

課題1 カーペット床清掃

時間：7分

作業仕様

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。 (必要な資機材及び数量は 資機材一覧表を参照のこと) ウォンド・吸い込み口は、事前にホースにセットしてある。	資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。	資機材の点検終了後、係員の指示に従い 所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	審査員の始めの合図で所定の位置に立ち「始めます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手をあげ、礼をする。	「始めます」と作業開始を申告する。
作業準備	真空掃除機を保管場所から作業場所の近くへ移動し、コードをはずし、プラグをコンセントに差し込み、始動点検を行う。	吸い込み口に手をあて、風量があるか点検する。	
入室の挨拶	入り口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」等、一礼、挨拶し、入室する。	声を出して申告する。
除塵 (真空掃除機)	① 真空掃除機を使用し、外から入り口を吸塵した後、作業場所へ入る。 ② 入り口より奥に向かって右幅木側・中央部・机の下へと順に作業を行う。 ③ ゴミ箱を移動して吸塵する。 ④ イスを手前に引き出し、机の下での吸塵を行い、元にもどす。 ⑤ 前進しながら吸塵作業をする。 ⑥ 作業が終了したら掃除機を室内より出してプラグを抜く。	ゴミを踏まないように広めに足場を確保する。 吸い込み口を床に強く打ちつけない。 掃除機本体は手で持って移動する。 プラグを持って抜く。	ゴミはシュレッターで裁断したものを50ml程度まいている。 掃除機のコードを持って抜かない。
点検	指差し及び目視点検を行う。	ゴミの取り残しがないか点検を行い、あれば処置する。	声をださないこと。
退室の挨拶	出口にて室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」等、一礼し、挨拶を行う。	声を出して申告する。
資機材の片付け	掃除機のコードを巻いて、掃除機を保管場所に戻す。		
終了挨拶	所定の位置に立ち、終了挨拶を行う。	「終わりました」「終了しました」等の意思表示を行う。	作業終了を申告する。

課題1 弾性床清掃及び机上清掃

時間：10分

作業仕様1-1

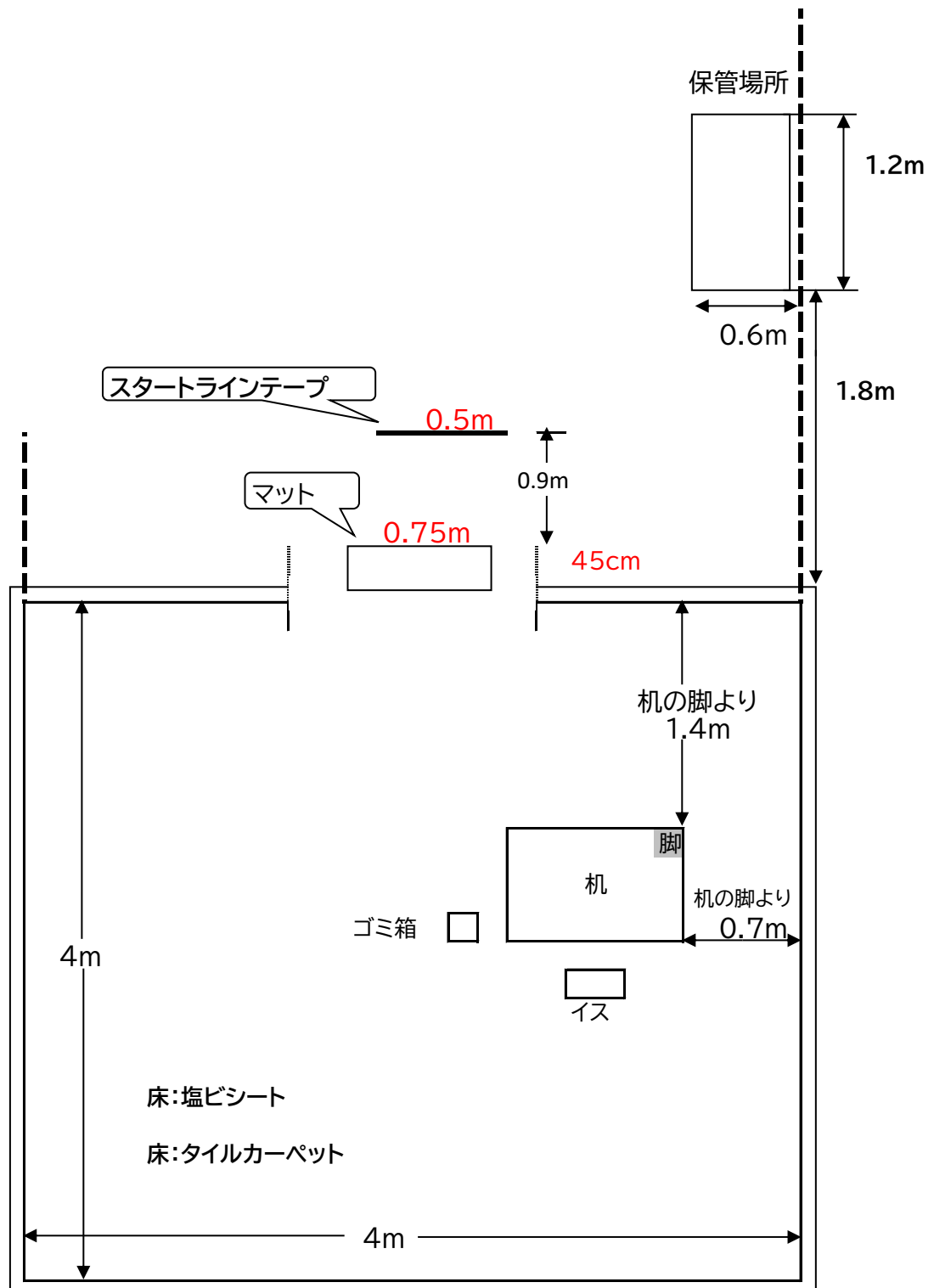
作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。 (必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと) ①柄の長さを調整する。 ②ダスタークロスを乾式モップヘッドに装着する。 ③①、②は事前に準備する。	資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。 柄は所定の位置に立て、乾式モップヘッドはカート上部の所定の位置に置く。	資機材の点検終了後、係員の指示に従い、所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	審査員の始めの合図で「始めます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手をあげ、礼をする。	「始めます」と作業開始を申告する。
作業準備	①作業カートを保管場所から作業場所の近くへ移動する。 ②作業標示板を立てる。	所定の位置に作業表示板を立てる。	
入室の挨拶	入り口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」等、一礼、挨拶し入室する。	声を出して申告する。
イス上げとゴミ処理 (1)イスを上げる (2)ゴミ回収 (3)ゴミ袋のセット	①作業前にイスを机の上にあげる。 ②ゴミ箱にセットされているゴミ袋ごと処理する。 ③ゴミ袋を出口においてあるカートゴミ袋に入れる。 ④ゴミ袋のスペア袋をゴミ箱にセットする。 ⑤ゴミ箱を机の上に上げる。	机は動かさない。 イスは机の四隅からはみ出さないように正しくのせる。 ビニール袋を正しくセットする。 ゴミ箱は机から、はみ出さないように正しくのせる。	
除塵作業 (掃き作業)	①乾式モップヘッドを柄に装着し、外から入り口を除塵し、作業場所へ入る。 ②入り口より奥に向かって右幅木側・幅木側・机の下・中央部へと順に作業を行う。 ③前進しながら出口に向かって1箇所を集める。 ④ヘッドを柄から外す。 ⑤使用済みのダスタークロスヘッドを外す。 ⑥柄とヘッドをカートに戻す。 ⑦小ぼうきと文化ちり取りを持って集めたゴミをとる。 ⑧ゴミの取り残しがないか点検する。 ⑨小ぼうき、文化ちり取りをカートに収める。	ゴミを踏まないように足場を確保する。 ヘッドの辺は広い方を先行させる(赤印をつけてある)。 ヘッドを床から離さない。 使用済みクロスはカートの袋の中に入れる。 ヘッドは、カート上部の所定の位置に置く。 ヘッドはスポンジ面を上にして置く。 ゴミの取り残しがあれば小ぼうきと文化ちり取りでゴミを取り除く。	ゴミはシュレッダーゴミを50ml程度均等に撒いている。 点検の際に声をださないこと。

課題 1

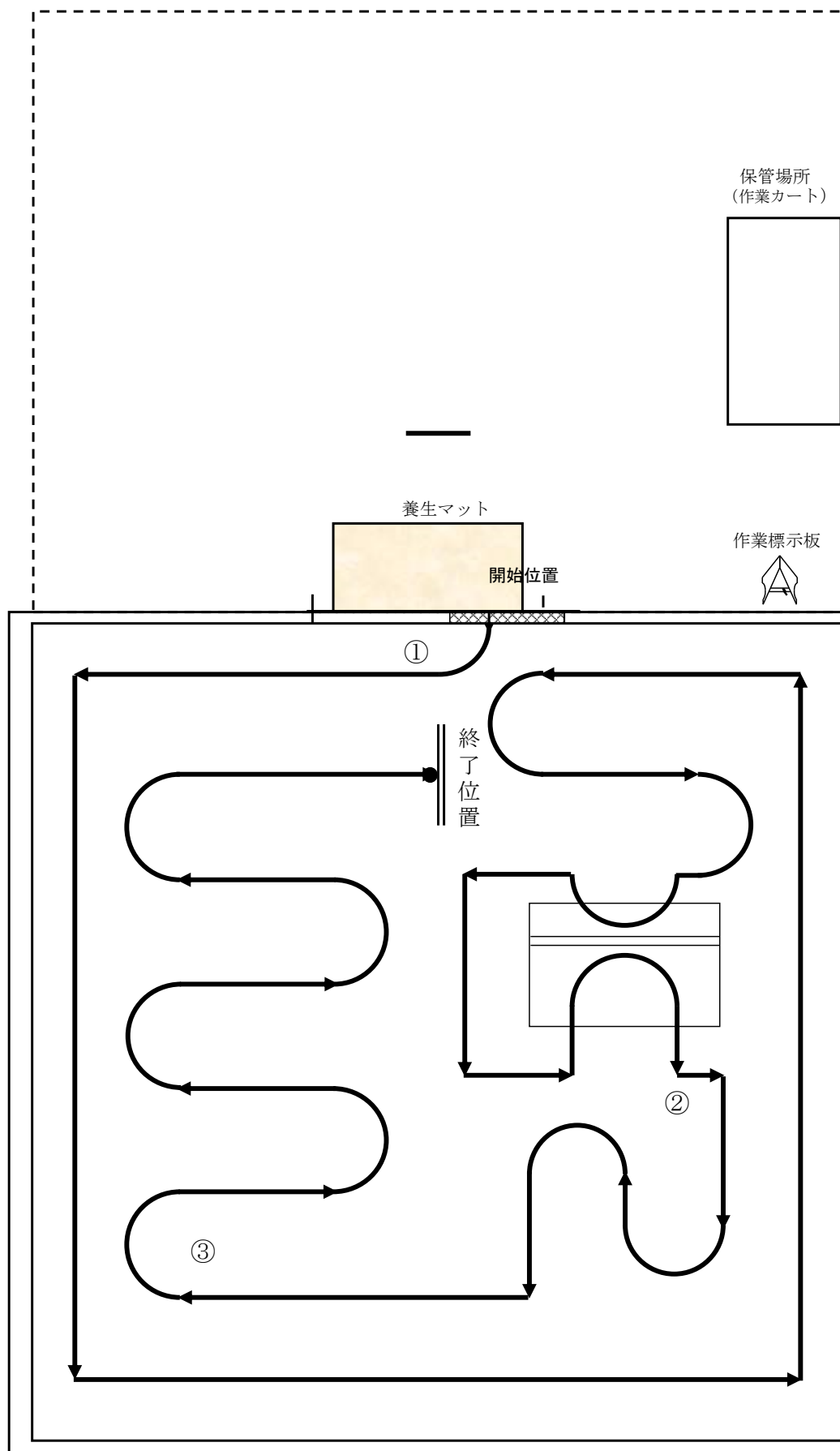
作業仕様 1 - 2

作業工程	作業方法	補足事項	備考
水拭き（モップ）	①コート全面積を拭く。 ②幅木側、机の下、中央部の順に拭く。 ③コーナー周りとお机の足元は房糸に手を添えて拭く。 ④モップは時々裏返し、モップ全体を使って拭く。 ⑤モップは横拭きとし、後退しながら拭く。	拭き残し、拭きむらのないようにする。 横拭きは柄の先端に親指を添えるのを基本とする。 幅木、机の脚部に触れないようにする。 拭いたところを踏まないようにする。	
ゴミ箱とイスを下ろす	安全に音を立てないように下す。	足の上に落とさないように注意する。	
机上拭き	①緑色のタオルを八折にして持つ。 ②机の縁を含めて、四隅から中央へ行う。 ③タオルが汚れたらきれいな面を出して拭く。 ④横拭き・縦拭きを行う。 ⑤机の上を水拭きした後に白色のタオルでから拭きを行う。 ⑥水拭きと同様に作業を行う。	拭き残し、拭きむらのないようにする。	
点検	指差し及び目視点検を行う。	資機材の忘れ、ゴミの取り残しなどの点検を行う。	点検の際に声をださないこと。
退室の挨拶	出口にて室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」等、一礼し、挨拶を行う。	声を出して申告する。
資機材の片付け	作業標示板を作業カートに収納し、作業カートを所定の位置に戻す。		
終了挨拶	所定の位置に立ち、終了挨拶を行う。	「終わりました」「終了しました」等の意思表示を行う。	

標準配置図(モデル)

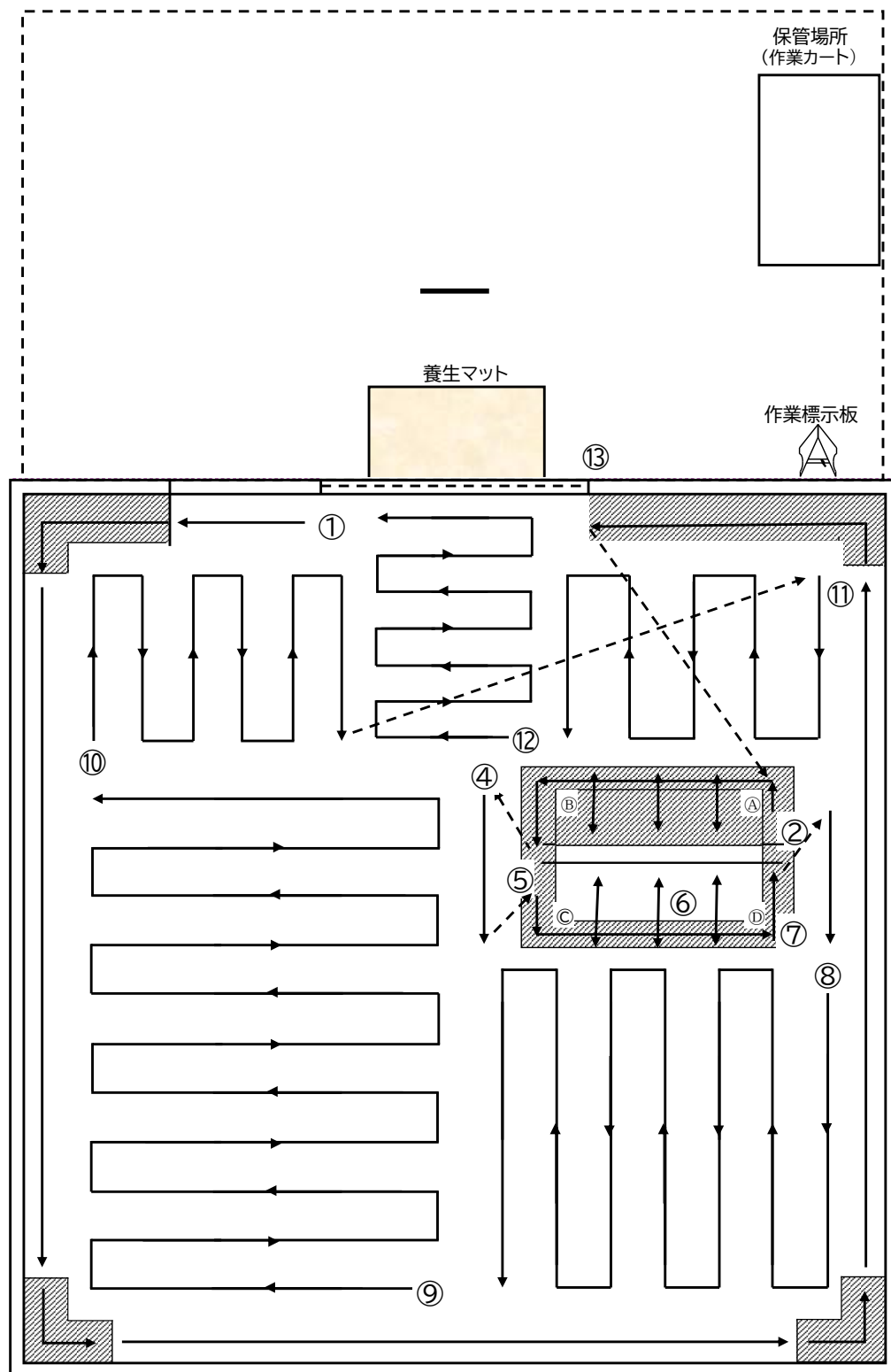


乾式モップ作業手順



注：乾式モップのヘッドの振る回数ではありません

水拭きモップ作業手順

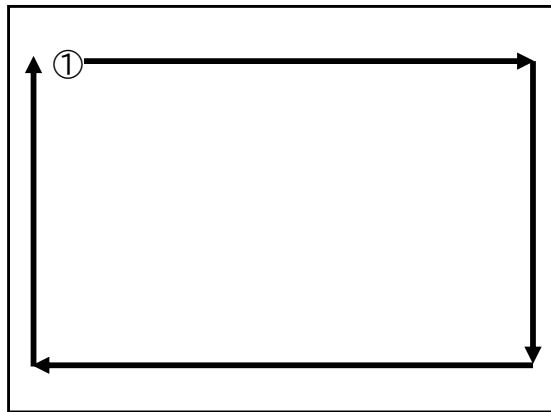


注: 手を添える箇所を示す。

水拭き回数を入れたものではありません。

- ①巾木側を1週すること（コーナーは手を添えます）
- ②Aの足回り手を添えてを拭く
- ③机の下を手を添えて拭く
- ④B足、C足、D足の順に足回りを手を添えて拭く
- ⑤机の脇（壁側）を拭く
- ⑥机の下を手を添えずに拭く
- ⑦机の脇（入口側）を拭く
- ⑧～⑫スパンを決めて拭く
- ⑬入口を手を添えて拭く

机上拭き作業手順



①四角く、縁にそって拭きます。
(その際、テーブル、机の縁も拭きます。)

折りたたみ順

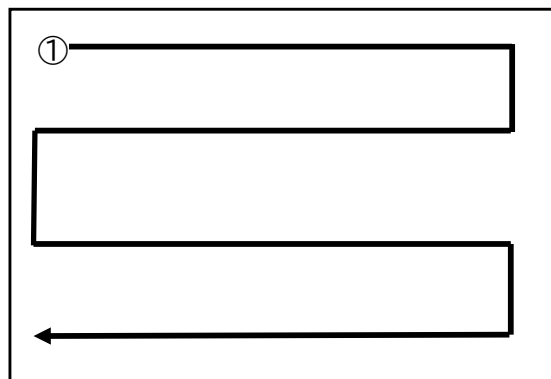
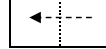
①縦に二つ折り



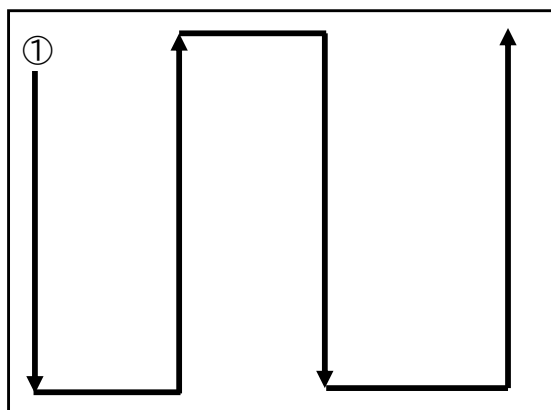
②縦に二つ折り



③横に二つ折り



②横拭き: 拭いていない中面を左右に拭きます。
(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、左右の動きにより、往復の回数が異なります。)

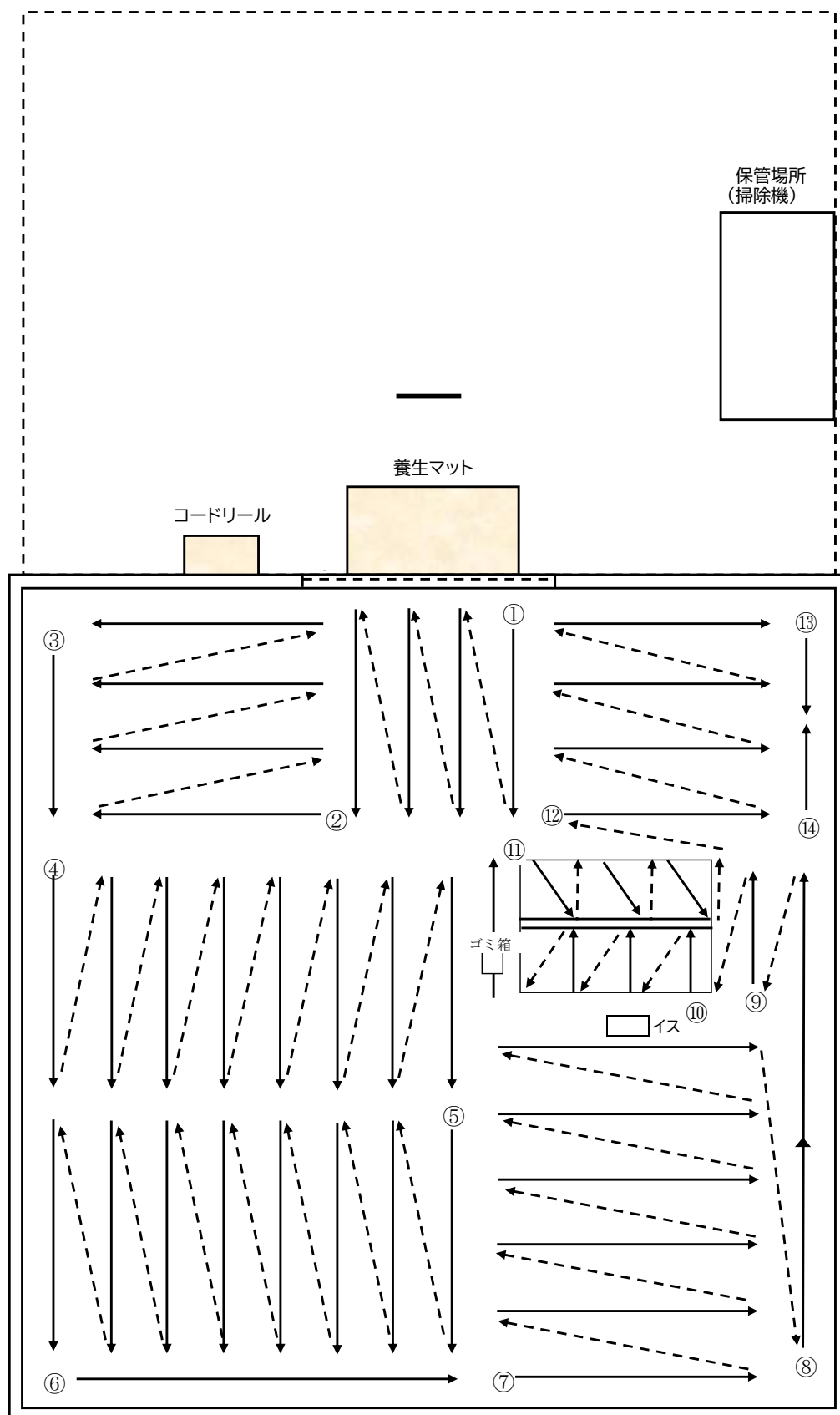


③縦拭き: 拭き残しがないように中面を上下に拭きます。(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、上下の動きにより往復回数は、異なります。)

④から拭きも同じように行います。

注: 作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。左手で持つ人の場合は、左右を逆として構いません。

カーペット床作業手順



注:作業の進行①～⑭

吸引回数を入れたものではありません。

①の作業を一回の行程でできない場合は、真ん中で二度に分けても構いません。

ゴミ箱の下を作業する際は、ゴミ箱を移動し、確実に吸引する。